

- 問1 ある工業地域の港湾における輸入品目の内訳をみると、石油が約59%、液化ガスが約22%と、エネルギー資源や原料が大部分を占めています。このような輸入の傾向と密接に関わっている、この工業地域で最も盛んな工業の種類を次の中から選びなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 金属工業 | 2. 化学工業 | 3. 繊維工業 | 4. 機械工業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 日本の木材需給に関する1960年代から2010年代にかけての統計的な変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。1965年、1990年、2015年の3時点の数値を比較した状況を想定して答えなさい。（2023年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 1990年代以降、日本国内の森林資源が完全に枯渇したため、生産量がゼロになり、消費量のすべてを輸入量で補っている。 | 2. 1960年代には国内の生産量が消費量の大部分を占めていたが、その後、安価な輸入量が急増したことで自給率が大きく低下した。 | 3. 高度経済成長期から現在に至るまで、国内の生産量が一貫して増加し続けたため、輸入量に頼る必要がなくなった。 | 4. 木材の消費量そのものが1960年代から現代にかけて激減したため、国内生産も輸入も行われない状況が続いている。 |
|--|---|---|---|
- 問3 持続可能な社会の実現に向けたエネルギー政策において、太陽光発電の持つ「資源」としての特徴を述べた文として、正しいものはどれか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーであり、資源確保の問題もない。 | 2. 地熱や風力に比べて建設費用が安いいため、最も経済的なエネルギー資源として普及した。 | 3. 天候に関係なく一定の電力を供給できるため、日本の主要なベースロード電源となっている。 | 4. 一度設置すればメンテナンスが一切不要であり、半永久的に一定の電力を生み出し続ける。 |
|---|--|---|--|
- 問4 宮城県の仙台市のように、人口規模が大きく、政令によって指定されることで都道府県並みの権限が一部付与されている都市を「政令指定都市」と呼びます。次のうち、すべてがこの政令指定都市に該当する都市の組み合わせを選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 福岡市・水戸市・横浜市 | 2. 高知市・広島市・札幌市 | 3. 水戸市・仙台市・富山市 | 4. 札幌市・横浜市・福岡市 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
- 問5 東京都の八王子市のように、巨大な消費地である都心部から比較的近い距離に位置する地域で行われている、新鮮な野菜などを供給することを主な目的とした農業形態を何というか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 促成栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 抑制栽培 | 4. 施設園芸農業 |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問6 2011年の震災以降、日本のエネルギー供給体制は大きな転換期を迎えました。2017年時点における日本の発電事情について、統計的な傾向として正しい記述はどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーが普及した結果、火力発電の割合が5割以下まで減少した。 | 2. 原子力発電の割合が震災前よりも増加し、日本はエネルギー自給率の向上に成功した。 | 3. 水力発電が原子力発電に代わる主力の電源となり、全発電量の約4分の1を占めている。 | 4. 原子力発電の割合が約3%程度まで低下し、電力供給の8割以上を火力発電が担っている。 |
|--|--|---|--|
- 問7 日本の鉄鉱石輸入において、2015年時点で最も輸入額が多い国と、2番目に多い国の組み合わせとして正しいものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1位：インド、2位：ブラジル | 2. 1位：オーストラリア、2位：インド | 3. 1位：オーストラリア、2位：ブラジル | 4. 1位：ブラジル、2位：オーストラリア |
|-------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
- 問8 日本の農業では、農産物を生産するだけでなく、生産した農家自身がその後の工程にも関わることで収益を安定させようとする「農業の六次産業化」が推進されています。この取り組みにおいて、生産（第一次産業）に組み合わされる活動の内容として、最も適切なものはどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 海外から安い肥料や農薬を大量に輸入し、生産コストを徹底的に抑える活動 | 2. 生産した野菜を用いた加工品の製造や、それらを消費者に直接提供する販売活動 | 3. 農作物の品種改良を専門に行う研究所を設立し、種苗を全国の農家に提供する活動 | 4. 農地を集約して経営規模を拡大し、大型機械を導入して生産効率を高める活動 |
|---------------------------------------|---|--|--|
- 問9 各国の経済指標と訪日外客数の推移を分析した資料によると、国民総所得（GNI）の伸びが約30パーセント程度であるのに対し、日本を訪れる旅行者数の伸びが約250パーセントと非常に大きくなっている国が見られます。この国に該当するものとして、資料の傾向を正しく説明しているものを選びなさい。（2016年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|----------------------------------|---|
| 1. 韓国：国民総所得の伸びに反比例して、訪日旅行者数が大幅な減少傾向にある | 2. 中国：国民総所得の伸びがアジアの中で最大であり、訪日旅行者数もそれに比例している | 3. タイ：所得の伸びに比べて、訪日旅行者数の伸びが突出して高い | 4. マレーシア：国民総所得と訪日旅行者数の両方が、低い水準で安定して推移している |
|--|---|----------------------------------|---|
- 問10 日本国内の発電所の分布状況をまとめた資料において、発電所の位置を示す記号が内陸の山間部に点在しており、平野部や海岸沿いにはほとんど見られないという特徴を持つ発電方法はどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 水力発電 | 2. 火力発電 | 3. 太陽光発電 | 4. 原子力発電 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問11 札幌市などの卸売市場において、北海道産の出荷が減少する冬から春の時期に、宮崎県などの温暖な気候を活かして野菜を栽培し、市場へ出荷する栽培方法を何というか。（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 園芸農業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 日本国内の都道府県別の住宅用太陽光発電機器の設置状況をまとめた資料から読み取れる、地理的な分布の傾向として正しいものはどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 設置割合が高い上位の県は広大な平野を持つ北海道や関東地方に多く、設置割合が低い下位の県は四国地方に多い。 | 2. 設置割合が高い上位の県は年間降水量が最も多い紀伊半島周辺に集中し、設置割合が低い下位の県は瀬戸内海沿岸に多い。 | 3. 設置割合が高い上位の県は本州の内陸部や九州に多く、設置割合が低い下位の県は日本海に面した地域に多い。 | 4. 設置割合が高い上位の県は太平洋に面した沿岸部に多く、設置割合が低い下位の県は標高の高い本州の内陸部に多い。 |
|---|--|---|--|
- 問13 スマートフォンや電気自動車のバッテリーなどのハイテク製品に不可欠な、地殻内での埋蔵量が少なかったり、純粋な金属として取り出すことが難しかったりする希少な金属を何と呼びますか。アフリカ州で多く産出されるプラチナやコバルトなどがその代表例です。（2018年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|---------|----------|
| 1. 貴金属 | 2. 軽金属 | 3. 非鉄金属 | 4. レアメタル |
|--------|--------|---------|----------|